

自治基本条例 市民アンケート結果

●目的

熊本市自治基本条例第42条では、4年を超えない期間ごとに、経済情勢や社会情勢等の変化を踏まえて、適切な処置を講じることとしている。

平成26年度、平成30年度の検証に引き続き令和3年度の検証を実施することとしております。検証を実施するにあたり、自治基本条例に関する考え方や関心のある項目、自治基本条例に関するご意見等について広く市民の皆様のご意見を伺うため Web アンケートを実施した。

●対象

市内在住・在勤・在学の方、市内で事業活動を行うかた。

回答者数：268件

●期間

令和3年7月28日（水）～8月15日（日）

●周知方法

熊本市ホームページで周知するほか、熊本市公式 LINE を用いて周知を行った。

●回答方法

市ホームページ内のアンケートフォームにより実施した。

問1. あなたの年代について教えてください。										択一選択(ラジオボタン)									
(1) 20歳未満	3																		
(2) 20歳～29歳	4																		
(3) 30歳～39歳	28																		
(4) 40歳～49歳	72																		
(5) 50歳～59歳	81																		
(6) 60歳～69歳	60																		
(7) 70歳～79歳	18																		
(8) 80歳以上	2																		

問2. あなたは「自治基本条例」をどの程度知っていますか？										択一選択(ラジオボタン)									
(1) 「熊本市自治基本条例」の内容を詳しく知っている。	2																		
(2) 「熊本市自治基本条例」の内容をなんとなく知っている。	24																		
(3) 「熊本市自治基本条例」の名称は知っているが、内容はよく知らない。	83																		
(4) 「熊本市自治基本条例」について全く知らない。	159																		

○自治基本条例の認知度が低く、周知に課題がある。

問3. 熊本市自治基本条例には次のような項目があります。どの項目に関心がありますか(複数回答可)										複数選択									
(1) 市民、市議会及び市長等の役割	85																		
(2) 市政の原則及び制度	91																		
(3) 情報共有及び参画・協働	119																		
(4) コミュニティ活動	119																		
(5) 区におけるまちづくり	136																		
(6) 危機管理	180																		
(7) 住民投票	72																		
(8) 国、他の地方公共団体等との連携	79																		
(9) 自治推進委員会、最高規範性及び条例の見直し	24																		
(10) 関心のある項目はない。	21																		

○熊本地震の影響か「危機管理」の項目の関心をもっとも高い。次に「区におけるまちづくり」「コミュニティ活動」「情報共有及び参画・協働」とまちづくりに関する項目に関心が高い。

問4. 町内自治会が行っていることであなたが知っていることを教えてください。(複数回答)									
複数選択									
(1) 自主防火活動、災害時の対応	139								
(2) 夜間パトロール、防犯灯の設置・維持管理	148								
(3) 交通安全指導、交通安全運動	156								
(4) 一人暮らしのお年寄り訪問、敬老会	130								
(5) 赤い羽根募金、歳末助け合い運動	157								
(6) 町内清掃、ごみステーションの管理	223								
(7) 資源物回収、リサイクル活動	151								
(8) 害虫駆除、献血運動	29								
(9) 各種スポーツ大会、夏祭り	169								
(10) 文化祭、広報紙の作成	105								
---未選択---	8								

○アンケート回答者の8割以上は、町内自治会が「町内清掃、ごみステーションの管理」を行っていることを知っており、市民の町内自治会の活動の認知度は高かった。

問5. 熊本市自治基本条例が施行されて10年が経ちましたが、身近な課題を地域の皆様が主体となって解決する活動は、どの程度行われていると感じますか。									
択一選択(ラジオボタン)									
(1) かなり行われている。	10								
(2) まあまあ行われている。	77								
(3) あまり行われていない。	44								
(4) 全く行われていない。	17								
(5) わからない。	120								

○地域の課題は地域で解決するという活動は、わからないという回答が最も多かった。
次に多いのが、まあまあ行われている回答であった。

問6. 熊本市では、市民の皆様のご意見を取り入れるため、次のような市民参画の方法を実施しています。これまでに参加したことがあるものを選んでください。(複数回答可) ※参画...施策の立案から実施及び評価までの過程に主体的に参加すること。									
複数選択									
(1) パブリックコメント	11								
(2) 審議会等	6								
(3) アンケート	86								
(4) 説明会	17								
(5) ワークショップ	14								
(6) オープンハウス	2								
(7) 参加したことがない。	172								

○参加したことがないという意見が多数となっており、次にアンケートのみ参加したという回答が多い。割合は少ないがパブリックコメントや審議会等に参画されている方もいる。

問7. 熊本市自治基本条例について、ご意見がありましたら自由にご記入ください。

(自由記載)

○ 複数の回答があった意見について抜粋

- (1) 職員の接遇について 2件
- ・区役所の職員の対応は素晴らしいが、苦情対応に関して職員の連携が取れていなかった。
 - ・行政と市民の立場が対等でなく、意見を聞いてくれないことがあった。
- (2) 自治基本条例の周知が不足している 19件
- ・自治基本条例が良くわからないので、わかりやすくしてほしい。
 - ・自治基本条例について、意味や目的を含めて大半の市民が知らないのではないか。
 - ・区毎の広報などは充実していて良い。
- (3) まちづくりの在り方について 5件
- ・住民自治の自立性を高めていくための施策や助成の在り方などを検討していく必要がある。
 - ・回覧板や半強制的イベントなど時代遅れな制度を精査するシステムが必要
 - ・働いている人、こどものいない人、一人暮らしの人等、地域と関わりにくい人達も気軽に参加できる地域であったら良いと思う。
 - ・自治会の存続が厳しい昨今かと思う。地域福祉をどのように展開するかが今後の熊本市に大きく影響すると思う
- (4) 自治会の活動について 16件
- ・うちの区の自治会長は、良く仕事をされており感謝している。
 - ・回覧板や町内会費の回収は負担だが、災害が高齢者を思えば地域の繋がりは大切だ。
 - ・こども会も町内会の一部の組織ですが、加入する家庭は減少している。母親も働いているので、他の家庭のこどもの面倒を見る余裕はない。自治会は20年後に存続しているだろうか。
 - ・新しく引っ越してくる若い世帯は、自治会活動は老人達が勝手にしていることで煩わしいものだという認識を持っている方が多い。その割にごみステーション等は普通に利用されマナーを守られていない。周知をお願いしたい。
 - ・自治会は町内の役員だけで活動しており、住民の意見を述べる機会がない。
 - ・マンション暮らしです。町内会費を毎月徴収されますが、何のメリットもありませんし、感じません。回覧板を回すのが苦痛です。
 - ・コロナ禍で地域の行事も行われておらず、寂しく窮屈な暮らしのなか、広報誌のお知らせに繋がりを感じる。これからも充実していったほしい。